

# 躍

いきいき狭山人  
びと



生活犬しつけ教室では会員同士のきずなを強めます



歩行者の妨げにならないよう  
すれ違いの練習も行います



ときには厳しくしかることも…

## 生活犬の持つ魅力を生かし 命の尊さや人を思いやることのできる そんな子ども達の健全育成に役立ちたい

少子高齢化や核家族化が進む現在、ペットとともに暮らす人たちが増えていきます。その中で、家族の一員とし

て一緒に生活している犬を生活犬と呼び、飼い主のマナーの向上と地域の防犯活動を積極的に進めようと設立されたのが、生活犬環境向上推進協会です。同協会は、平成18年3月にNPO法人を取得し、地域や行政と協力しながら積極的に活動を続けています。

「昨々、ニュースなどで比較的若い世代による幼い子や年配者を狙った犯罪を多く見聞きし、非常に悲しく思います」と心を痛めているのは、同協会理事長の横山英利さん。

こうした状況に、生活犬の持つ魅力を生かしながら、子ども達の健全育成に少しでも役立てられないかと考えたのが、会発足のきっかけの一つだったそうです。

現在の活動の中心は、生活犬のしつけや飼い主のマナーの向上などを目的とした生活犬しつけ教室の開催や、交流会などで、飼い主さん同士の親睦の場を多く持つことに重

点を置いていきます。こうした身近にできることを積み重ねながら、活動の土台作りを日々行っています。

同時に、地域の安全にも気を配り、不審者には警戒心を促すための、生活犬パトロール活動を実施しています。また、協会では

飼い主のマナーとして排せつの処理は、特に適切に行うよう呼びかけています。

「パトロール中の犬の排せつにも十分注意し、排せつ物の持ち帰りはもちろん、水を入れたペットボトルを持参し、排せつ後には水を流し、臭いなどが残らないよう処理しています。生活犬パトロールを行うことで、地域の皆さんに迷惑をかけることのないよう、会員一同努めています」と話す横山さん。その努力が実り、現在会員数は38家族となり、活動趣旨に賛同する団体



皆さんの皆さん(左から新井さん・横山理事長・松本さん)



や企業も増え、温かい支援や応援が寄せられています。最後に横山さんはこう語ります。生活犬と一緒に生きていくことで、子ども達には命の尊さを身を持って感じ、思いやりのある、強い心を持つ大人に成長してほしいと願っています。これからも、生活犬パトロールをとおして、安全・安心なまちづくりにも貢献したいと思っています。一人でも多くの方に参加していただけたらうれしいです。」

同協会のこれからの活躍が大いに期待されます。

市民みなさんの声

# オビニオン

## あいさつから始まる地域の安全と安心



中谷みさえさん  
(北入曾在住)

私が子ども達に声かけするあいさつ運動を始めたのは3年前からです。地元の小学校PTAとして、毎朝、同じ住まいのマンションから登校する児童・生徒たちに「おはよう！」と声をかけてきました。子ども達があいさつを笑顔で返してくれるのがうれしくて、続けるようになったのです

が、同時に、私たちが積極的に声かけをすると、子ども達の生活のようすをかいま見ることができます。

子ども達のさまざまな反応は、何らかのシグナルにもなります。あいさつの声かけから始まるコミュニケーションは、登下校の児童・生徒たちを見守ることができるばかりでなく、地域の連携を深め、犯罪などへの抑止力も高まると思います。子ども達がのびのびと育つ、安全で安心な住みよい狭山市を築くためにも、あいさつ運動を続けていきたいと思っています。

### 市の考え方

日ごろから、あいさつ運動に積極的に取り組んでいただきありがとうございます。

「おはよう！」そんな一言から一日が始まるのは、とても素敵なことですね。コミュニケーションの基本となるあいさつですが、残念ながら家庭や地域の中でも、おろそかになってしまっていることが多くなっています。

市では、子どもや大人にもう一度あいさつの大切さ、気持ちよさを知ってもらい、子ども達がのびのびと育ち、地域の人たちがいきいきと暮らせる「あいさつの溢れるまち」を目指して、あいさつの普及・啓発に今後も努めてまいります。

ご協力をよろしくお願いします。

担当 社会教育課

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)  
✉koho@city.sayama.saitama.jp

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)  
✉koho@city.sayama.saitama.jp

私の宝物 ...

## 愛車の手入れが楽しみのひとつ

私の宝物は10年前に手に入れた1973年式のバイクです。クラシックなバイクにはそのもの自体に味や風格があり、存在感が際立ちます。



粕谷紀仁さん  
(狭山在住)

古いバイクのメンテナンスは大変難しく、部品一つ交換するのにも、探し出すのに非常に苦労しますが、こうして手を掛けた愛車を見ていると時間を忘れ、いつの間にかいやされている自分に気づきます。



総排気量900ccを誇る自慢のバイク

こんなに楽しくリラックスできる時間を提供してくれるこのバイクを、これからも大切にしていきたいと思います。

次回は、私の友人で人間川にお住まいの方をご紹介します。

# Hello ハロー仲間たち

Vol.322



詩吟をとおして、心身ともに元気いっぱい私たちです

青葉会

私たちの会は詩吟を歌う会で、平成9年に発足しました。現在は6名の会員が新狭山公民館で毎週、活動をしています。

詩吟は、漢詩などを独特の節回しや発音で、詩歌の心を最大限に表現していくものです。そこから、普段の日常生活では味わえない、古来からの漢詩の世界に触れることができるのが、詩吟の大きな魅力です。

また、詩吟の発声は腹式呼吸で、なめらかな、メリハリのある声を出すために、健康増進に大変役立ちます。この方法で大きな声を出すと、姿勢がよくなり、食欲も出てきますし、漢詩を覚えるので、文の暗唱が私たちの頭の体操にもなっています。

年に2回ある発表会や流派のコンクールが私たちのよい目標で、これらに合わせてみんな一生懸命に練習に励んでいます。会員同士もとても仲が良く、発表会の後には懇親会を開き、お互いの親睦を深めています。

日本の伝統の心と、先人の生き方を学びながら、身体的にも健康に非常に優れている詩吟を皆さんも一緒にやりませんか。

問合せ 森田弘子さんへ

2952 1607